



第 29 号  
国立市北2-4-28  
能味寿哉 75-7110

# 『国立』この街に住んで

支部長 能味寿哉



私が杉並区阿佐谷北にあった旧職場の日銀行舎から国立に移り住んだのは、昭和四十六年春のことであった。その三年前、求めてあった土地に家を建てる決心をしたわけだが、すべて人と人との縁によるものだった。不動産会社を紹介してくれた学

校の親友は俠気に富んだ実によく男だった。また不動産会社の課長も面倒見がよく、JR中央線が好きだという私に付き合っただけで周回を探し回ってくれた。そして「ここが最後の物件ですよ」と自信をもって斡旋されたのが今の土地で、いわば終の棲み家となった。

そして村田巨大先輩との出会いがある。昭和五十三年のある日舞い込んだ一通の手紙で国立白門会を結成したいのをご協力を」という趣旨の熱い文面は、忘れかけていた駿河台の古い校舎を記憶の中に蘇らせてくれるものであった。

監事を引き受けてほしいとの要請。私が旧職場で長年固い勤めをしたことに目を付けられたに相違ないのだが、実はそれから役員を次々と仰せつかったとうとう今日に至ってしまった。

村田前会長の情熱は本当に素晴らしい。尊敬にたえなかつたが、一時は国立市長候補にも擬されというエピソードがあるほどお顔も広く、人物識見も一流であられたわけで、そのおかげで国立白門会は設立当初から各方面の注目を浴び、年々その存在を重からしめていることは誠に同慶にたえない。勿論、白門会会員一人一人の中大スピリットが活躍のあらゆる面に顕著に現れていることは言をまたない。福谷現相談役が精魂込めて書き上げた創立十周年記念誌「はばたき」はわが会の発展の軌跡を詳細に記述している。私は折々その好著を読み直し村田前会長の在りし日を懐旧している。

さて目を転ずると現今、国立市の街の変わりようがいかに激しいことに、時として胸が痛む思いがする。特に有名なトンガリ屋根の駅舎を中心にした南北の高層ビルの新築ラッシュには驚きを禁じえない。もっと自然の保護、環境との調和に心を砕いた処置がとられていいと考えるが、

住民の意識とのズレはあまりにも大きい。行政、施主、業者の大手高所からの配慮施策を望む所以である。

国立白門会は今や中央大学学生会の有力支部としての地歩を固めつつある。草創期の「天下市協賛バザー」開催以来、毎年春秋欠かさず実施している地元との交流を一層綿密にすると共に「市民ウォーキング大会」など諸般の公的行事にも積極参加して、ひいては母校の名声アップにつながるがればと念じ、皆さんのご支援をお願いしてやみません。

風間健氏  
青木健氏

『国立市議職公云  
議員選挙  
見事当選』

四月二三日に行われた統一地方選挙において両氏は共に二期目の当選をはたされました。過去四年間における誠実な活動が広く市民に評価された結果であります。一期目の経験を生かし、私たち市民のために、なお一層のご活躍を期待いたします。

また白門の同士として両氏の活動を支援すべく会員各位のご協力をお願いいたします。

## 定時総会開催

平成七年度

左記により第十八回定時総会を開催いたしますので会員の皆様多数ご出席下さいますようお願いいたします。

日時 五月二八日(日)

午後四時

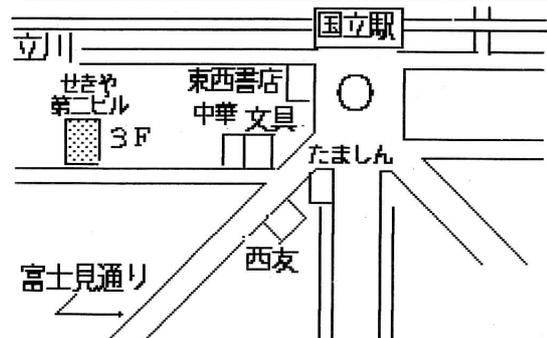
会場 せきや第二ビル三階

(国立駅南口徒歩三分)

懇親会費 四千元

準備の都合もありますので先に送付しました往復ハガキ未投函の方よろしく願います。

\*なお、当日年会費三千円の納入受付もおこないます。



平成7年度国立白門会予算案  
自 平成 7年 4月 1日  
至 平成 8年 3月31日

平成6年度国立白門会決算書  
自 平成 6年 4月 1日  
至 平成 7年 3月31日

科目	摘要	金額
年会費	3000×100名	300,000
入総会費	4000×30%	120,000
の寄付	新幹線その他	50,000
部特別収入	バザー等	30,000
前年度繰越金		465,777
合計		965,777
印刷費	ニュース・会誌その他	300,000
支通信費	会員連絡他	80,000
会議費	役員会他	20,000
出総会費		160,000
交際費	他支部総会祝金他	70,000
の事務用品費	親	30,000
陸行事費	行費補助	100,000
部雑費		50,000
予備費		155,777
合計		965,777

収入の部			支出の部		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
年会費	210,000	300,000	印刷費	15,810	300,000
総会費	76,000	120,000	通信費	73,660	70,000
寄付・祝金	66,000	50,000	会議費	11,250	50,000
親睦行事会費	126,000	0	総会費	154,635	150,000
特別収入	122,572	130,000	交際費	40,000	150,000
雑収入	303	0	事務用品費	4,975	30,000
前年度繰越金	382,661	382,661	親睦行事費	117,429	100,000
			大学寄付金	100,000	0
			雑費	0	50,000
			予備費	0	82,661
			次年度繰越金	465,777	
合計	983,536	982,661	合計	983,536	982,661

平成 7年 5月16日

会計 高橋 雅幸 ㊟

会計監事 矢戸 勇之 ㊟

平成7年度活動予定

- 厚生部  
 \* NTT施設見学と会食 8月25日 謙徳仲  
 \* くにたちウォーキング 10月10日 おいせ  
 \* バーベキュー 11月下旬 駐賑 堀  
 \* 新年会 1月21日 77-1513
- 事業部  
 \* 4月2日 さくらフェスティバル参加 (済)  
 \* 11月3日 国立市民まつり参加  
 \* 11月12日 中央大学学術講演会
- 組織部  
 \* 会員名簿の更新発行
- 広報部  
 \* 国立白門会ニュース29号の発行

平成6年度活動報告

- 厚生部  
 \* 7月13日～14日柏崎原子力発電所見学と岩室温泉  
 \* 10月10日 くにたちウォーキングに参加  
 \* 12月10日 多摩川にてバーベキュー  
 \* 1月21日 新年会 (せきや第2ビル3階ホール)
- 事業部  
 \* 4月3日 さくらフェスティバル参加  
 \* 5月29日 総会 (国立商協ビル)  
 \* 11月6日 国立市民まつり参加 (バザー・進学相談)
- 組織部  
 \* 学員の把握・会員名簿作成準備
- 広報部  
 \* 国立白門会ニュース28号の発行

中央大学学術講演会開催

日時 平成7年11月12日 (日)  
 午後 2時～3時30分  
 会場 国立市公民館 (社説 駅より約3分)  
 演題 いじめ自殺とその周辺・上手な子ばな  
 れ・子どもの自主性を育てる教育的関  
 わりの秘訣  
 講師 中央大学理工学部教授  
 岸 信行 氏  
 主催 中央大学学術講演会運営委員会  
 後援 国立市教育委員会  
 中央大学学生会国立支部

昨今、大きな社会問題となっている『いじめ』の問題についての講演です。多くの方々に聴講いただくよう会員のみなさまにPRをお願いいたします。

◎市橋千鶴子顧問 (学生会副会長) が句集を出版されました。おめでとうございます

句集 羽衣 市橋千翔著  
 4月26日 角川書店より出版

◎阪神大震災に義援金

1月21日開催の新年会にご参加の皆様にご協力いただきました義援金(36,000円)は朝日厚生文化事業団を通じて現地に届けられました。

◎若手落語家としてご活躍の三遊亭 竜楽さんの独演会が9月12日 午後6時30分より国立演芸場(新大塚駅前)にて開催 会員各位のご来場よろしくお願ひします。

◎中央大学教育・研究振興資金募金ご協力のお願ひ

平成7年3月31日現在の募金総額は目標22億円の約55%、また我が支部関係の募金は73万円となっております。なお一層のご協力をお願いいたします。